

社会性報告



日野自動車（以下、日野）は、CSRメッセージの中で「国際社会・地域社会への貢献」を定めています。なかでも活動の重点領域として掲げているのが「人づくり支援活動」です。次世代を担う子どもたちに、モノづくりについて興味をもってもらおうと工場見学の受け入れや有志による小学校への出前授業などの教育支援を実施しています。

☒ CSR報告方針

創立70周年記念事業の一環として、日野にとって主要市場のひとつであるタイ王国(以下、タイ)の学生を対象とするスカラシッププログラムを創設しました。タイは、日野が最初に海外販売会社を置いた国であり、日野にとって重要な生産拠点でもあるなど、とても繋がりの深い重要なパートナー国の一つです。

ASEANの産業発展を願って

このスカラシッププログラムは、タイと日本で学ぶエンジニアリング専攻のタイの学生を支援するプログラムで、タイの研究技術者養成のための大学院であるTAIST-Tokyo Tech（Thailand Advanced Institute of Science and Technology、以下TAIST）、日本の東京大学および東京工業大学と連携して実施。東京大学、東京工業大学は、グローバルな感覚と高度な技術を持つ研究者・技術者養成に定評のある大学です。

スカラシップの応募資格は、各大学院で学ぶ学生で、各校2名ずつ1名につき2年間の支援をおこないます。エンジニアリングに関する領域であれば研究内容には特に指定はなく、また日野グループへの就職は奨学金を受けるための条件ではありません。

2013年度に認定された学生は、TAIST と東京大学でそれぞれ1名です。奨学生にはスカラシップを活用して充実した学生生活をおくり、タイ国およびASEAN、ひいては世界の産業界で活躍していただきたいと期待しています。

日本は、ASEANの国々と比べて物価が高いことなどから、留学生は勉学の合間にアルバイトが必要な状況となりがちですが、日野のスカラシップは、そうした学生が勉強に集中できる環境を提供しています。



TAISTの教室がある建物



タイでおこなわれた授与式の様子
証書を受領する奨学生のメックさん

また、東京工業大学、NSTDA（National Science and Technology Development Agency＝タイ国立科学開発機構）とタイ各大学が連携して立ち上げたTAISTは、タイおよびASEANの製造業で中核となるような自動車工学分野の高度人材育成プログラムを実施しており、その趣旨はASEANの産業発展を願う日野の考えと合致するものです。日本とタイを代表する大学とNSTDAが形成する育成ネットワークに参加する意義は非常に大きいと考えています。

2013年9月12日に、タイ、バンコク近郊にあるNSTDA内で奨学金授与式がおこなわれ、日野自動車専務取締役 鈴木敏也（現、専務役員）より奨学生へ証書が授与されました。授与式では「将来の産業発展に貢献できる、高度な知識を身につけたグローバル人材の育成に寄与したい」という日野の想いを話し、学生にエールを送りました。

日野は、こうした支援をおこなうことによって、スカラシップを受けた学生が「モノづくり」の世界で成果を上げ、世の中に役立つ製品を生み出すことができるよう「人づくり支援」をおこなっていきます。

Voice

人と環境に優しい車両開発が夢

Mek Srilomsak さん
(メック・スリロムサク)
TAIST 学生



私はTAISTの自動車工学プログラムで、車両デザインや製造工程のマネジメントなどを学んでいます。先生方からは専門知識以外にも、時間管理法や思考法を教わっています。

スカラシップのことは、TAIST自動車工学プログラム・プログラムディレクターのプリーチャー・カリン先生に伺いました。輸送車両メーカーとして有名な日野の奨学生に選ばれたことはとても嬉しく、感謝しています。

ここで身につけた知識を将来の基盤として活用し、日野のようなトップクラスの企業で、人と環境に優しいサステナブルな車両の開発に携わりたいと思っています。また、企業退職後は故郷の大学で、私の経験と知識を次世代へ伝えたいと考えています。



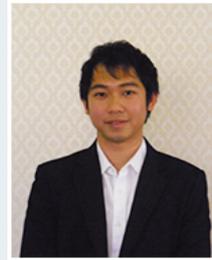
3Dグラスを使用して最先端の3D CAD
を体験



研究室でエンジンの
組み立てを学ぶ

タイの人々の生活を便利にする未来を

Wanasit Tanakitrungruang さん
(ワナシット・タナキットルンアン)
東京大学 留学生



私の夢は、世界レベルのエンジニアになることです。大学ではコンピューターネットワークについて学んでいます。大学院には留学生が多く、タイ人の先輩には生活などさまざまな面で助言を受けています。

日野のスカラシップは大学から紹介をうけました。卒業までの支援を約束していただいたことで、勉強に集中できますし、家族も安心しています。

先日、日野の工場を見学しましたが、とても清潔で、工具は使用したら決められた場所に戻されるなど規律の徹底や安全への配慮がなされており、効率よく運営されているのが印象的でした。

卒業後は、世界のトップ企業で働きたいと思っています。日野のトラックのように、街のいたる所で自分が関わった製品が利用され、タイの人々の生活を便利にする未来を夢見ています。



日野自動車のトラック組み立て工場

産学連携でグローバルな人材育成支援

日野自動車株式会社 開発管理部 部長 橋本 正



独自のスカラシップ創設は日野にとって初めての試みでしたから、制度設計には苦労しました。対象大学選定のため各大学OBの社員や大学担当者へ何度もヒアリングし、支援内容についても議論を重ねました。苦労の甲斐あって、制度ができ上がり、グローバルに優秀な学生を支援できることになりました。

スカラシップは、目先の利益を追うことなく、将来何らかの形で実になればよいという姿勢で実施することが重要です。支援を継続していけば、奨学生ネットワークもでき、そうした積み重ねが日野のファンを増やしていくことにつながると信じています。